

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月31日

上場会社名 サイバネットシステム株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 4312 URL <http://www.cybernet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高橋 宏 TEL (03) 5297-3010

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	14,642	(11.7)	1,378	(5.5)	1,529	(△0.7)	846	(0.1)
19年3月期第3四半期	13,106	(11.0)	1,306	(18.9)	1,540	(24.1)	845	(19.5)
19年3月期	18,998	—	2,540	—	2,827	—	1,516	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	2,669	42	2,660	47
19年3月期第3四半期	2,670	66	2,657	21
19年3月期	4,786	75	4,763	77

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	14,661		10,561		72.0		33,278	53
19年3月期第3四半期	12,960		9,462		73.0		29,850	55
19年3月期	15,769		10,127		64.2		31,946	07

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	296		453		△492		2,276	
19年3月期第3四半期	705		△1,997		△434		1,355	
19年3月期	2,415		△3,054		△434		2,018	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	700	00	900	00	1,600	00
20年3月期	700	00	—		1,600	00
20年3月期(予想)	—		900	00		

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

第3四半期の業績は予定通り推移しており、平成19年4月26日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期会計期間は、主に製造業の開発環境における「ものづくり支援におけるワンストップソリューションの実現」を目指し、多様化かつ高度化、複雑化する顧客の要望に応えるため、その問題解決と付加価値向上に結びつく様々なソリューションを提案するなど、販売拡大に努めてまいりました。既存ビジネスの強化・拡大はもとより、新規プロダクトの発掘および新規アプリケーションの開発、ならびに自社製品開発や機能アップに積極的に取り組んでまいりました。そして、受託解析・コンサルティング等サービス事業の拡大に取組み、一定の成果を挙げることができました。社内体質強化につきましては、平成19年11月にISO27001の認証を取得し、顧客および取引先の情報資産を適切に管理する体制を構築いたしました。当第3四半期の売上高は、全般的に堅調に推移し、計画をほぼ達成することができました。経費面では、当第1四半期に実施した本社移転に伴う一過性の費用などの増加もありましたが、業務の効率化ならびに経費圧縮に努めた結果、営業利益、経常利益は計画を上回ることができました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は146億42百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は13億78百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益は15億29百万円（前年同期比0.7%減）、第3四半期純利益は8億46百万円（前年同期比0.1%増）となりました。事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、当連結会計期間より事業領域の拡大に伴い、事業の種類別セグメントの名称を「ネットワークソリューションサービス事業」から「ITソリューションサービス事業」に変更しております。名称の変更による主要商品・サービス等の変更はありません。

（CAEソリューションサービス事業）

制御、信号処理および通信関連分野は、自動車・電機メーカーをはじめとする既存顧客の強い需要に支えられ、販売が好調に推移いたしました。機械系分野は、大手総合電機メーカーやデジタル素材メーカーからの受注により堅調に推移しました。光学系分野は、フラットパネルディスプレイ製品の開発競争が活発なことから、照明解析ソフトウェアの販売も順調に推移しております。エレクトロニクス系分野は、電子回路設計の解析ソフトウェアは、顧客の設備投資意欲低下に伴い、伸び悩みました。また、サービス事業は、原油価格の高騰や地球温暖化対策に後押しされ、原子力産業からの委託解析業務の需要が旺盛で、受注は確実に伸びております。さらに、半導体産業においては、電子機器の小型化、信号の高速化に伴い、基板設計等の難易度が増すにつれ、当社の解析技術の需要が増し、サービス収入の増加に大きく貢献しました。新規商品分野では、9月に販売を開始した、製品量産時における安定した品質や低コストの生産を実現する3次元CADシステム用の公差解析ソフトウェアが順調に立ち上がってまいりました。可視化分野では、メタボリックシンドロームの早期発見を目的とした、自社開発の内臓脂肪計測ソフトウェアを中心に堅調に推移しました。

以上の結果、当事業の売上高は128億61百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は29億24百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

（ITソリューションサービス事業）

ITソリューション分野においては、業務パフォーマンス改善ソフトウェアが、一般ビジネス分野での導入が進んだことと、簡易機能版の導入増により市場に広く浸透したことから好調に推移しました。一方、ハードディスク暗号化ソフトウェアやネットワーク暗号化ソフトウェアなどのセキュリティソフトウェアは主要顧客からの追加受注はあったものの、伸び悩む結果となりました。売上が減少傾向にあったIT資産管理ソフトウェアは顧客層を上げたことにより、第3四半期から回復傾向に向いました。内部統制リスク管理システムは、市場の需要は短期的な踊り場を迎えましたが堅調に推移しました。一方、セキュリティ関連ソフトウェア分野は、平成18年9月にウイルス対策ソフトウェアにおいて大口顧客の取引を失い、売上高への影響を大きく受けているものの、既存ソフトウェアや新規ソフトウェアの販売強化に取り組む、主要顧客から追加受注を受けました。

以上の結果、当事業の売上高は17億81百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は46百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当第3四半期末の財政状態

当第3四半期末日における総資産は、146億61百万円となり、前連結会計年度末比11億8百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は98億61百万円となり、前連結会計年度末比31億14百万円の減少となりました。この減少は主に、保守サービスに対するロイヤリティーの前渡金が3億64百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が9億17百万円、有価証券が29億63百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は47億99百万円となり、前連結会計年度末比20億6百万円の増加となりました。この増加は主に、余資運用による投資有価証券の取得によるものであります。

負債の部では、負債合計が40億99百万円となり、前連結会計年度末比15億42百万円の減少となりました。この減少は主に、買掛金5億45百万円、未払法人税等7億63百万円、固定資産の購入等に伴う未払金1億50百万円の減少等によるものです。

純資産の部では、純資産合計が105億61百万円となり、前連結会計年度末比4億34百万円の増加となりました。これは主に、配当金の支払いにより5億7百万円減少しましたが、当四半期純利益8億46百万円を計上したことにより利益剰余金が3億15百万円増加したことによります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.2%から72.0%となりました。

(2) 当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は22億76百万円となり、前連結会計年度末比2億57百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億96百万円のプラスとなりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益を13億84百万円、減価償却費を2億98百万円計上すると共に、売上債権の減少により9億94百万円増加しました。一方、仕入債務の減少により9億10百万円、秋葉原移転に伴う旧本社ビルの原状回復費用の支払いを含む未払費用の減少により1億4百万円、法人税等の支払いにより13億60百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億53百万円のプラスとなりました。これは、主に有形・無形固定資産の取得による支出7億58百万円があったものの、有価証券および投資有価証券の運用による純収入10億21百万円、旧本社ビルの敷金の返金による収入1億87百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億92百万円のマイナスとなりました。これは、主に配当金の支払い5億4百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年度の主要な製造企業においては、サプライム問題に端を発した米国景気の先行き不安、日本国内の内需の不透明感から足元の業績への影響が懸念されています。しかしながら、グローバルなものづくり企業においては、自動車、電機、精密機器業界を中心に、製品開発への姿勢は依然旺盛であり、当社で提供する様々なCAEソリューションサービスが、ものづくり企業の製品の品質向上、開発期間の短縮、開発コスト削減、製品の安全性の向上ならびに環境に配慮した製品開発に貢献することからも引き続き高い需要が見込まれます。当社グループは、日本のものづくり企業のこのような多様化、高度化、複雑化した要望に応えるべく、主力商品・製品を中心としたマルチプロダクトによるソリューション提案を重点施策として、引き続き推進してまいります。また、事業領域拡大を図るべく投入した新規商品・製品の確実な立ち上げをはじめ、サービス事業においては、顧客からの需要拡大が見込まれるコンサルティング・受託サービスを当社グループの事業の柱とするべく取り組みを強化してまいります。併せて、CAEエンジニア育成のための「ひとつづくり支援」を目的とした「CAEユニバーシティ」の事業化にも努めてまいります。可視化分野においては、医用画像関連において引き続き堅調な需要が見込まれ、医用分野の新たなソリューション開拓に注力してまいります。

ITソリューションサービス事業においては、業務の効率化、内部統制強化、セキュリティ環境の強化等、中長期的には、当社グループの取り扱いソフトウェアも底堅い需要が想定されます。当社グループは、業務パフォーマンス改善ソフトウェアについて、引き続き一般ビジネス分野への拡販に注力すると共に、PC操作マニュアルの作成目的に特化した簡易機能版の更なる拡大を目指します。また、IT資産管理ソフトウェアと連携して動作する操作ログ収集ソフトウェアは、既存顧客を中心とした需要を見込んでおります。さらに、上期に国内総代理店として発売を開始したSaaS（ASP形態のセキュリティサービス）が順調であり、大型見込み顧客の獲得に注力いたします。そして、内部統制リスク管理システムは、市場変化に対応できる周辺機能の開発に注力し、高度なソリューションの提供に取り組むと共に、IT性能評価システムの本格的な市場投入を開始します。

依然国内外の景気先行き不透明感から短期的にはいくつかのリスクが想定されますが、中長期的には、日本のものづくり企業における当社グループのソリューションビジネスに対する需要は堅調に推移するものと思われまます。なお、通期の業績予想および期末配当予想につきましては、平成19年4月26日に公表した数値より変更はしていません。

(通期連結業績予想)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	21,500	13.2	2,640	3.9	2,720	△3.8	1,732	14.2

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

(4) The MathWorks社との販売代理店契約終了について

平成20年1月17日にニュースリリースいたしましたThe MathWorks社（開発元）との販売代理店契約終了については、その業務移管日が平成21年7月1日であり、それまでは、開発元と協力しMATLABのライセンス販売事業の成長に努めてまいりますので、平成20年3月期および平成21年3月期の業績への影響はありません。なお、平成22年3月期は売上高への影響は受けませんが、業務移管協力への対価を得るため、純利益への影響は小さいものと予想しております。なお、平成21年7月以降のMATLABライセンス販売終了による収入収益の減少は、これまで取り組んでまいりました、以下のビジネスの成長を加速させることにより補い、早期の業績回復に努めてまいります。

- ・既存主力プロダクトの更なる成長
- ・新規有力プロダクトへの資源投入による成長加速
- ・MATLABパートナープロダクトの販売
- ・受託開発・解析ビジネスを含めたサービスビジネスの拡大
- ・自社開発プロダクトの推進及び海外展開
- ・中国子会社の成長および他アジア地域への展開

(5) 中長期事業計画「Step105」について

平成18年3月期にスタートしました中長期事業計画「Step105」につきましては、現在の進捗ならびに上記（4）の状況を踏まえ、現在、次年度事業計画と共に見直しをしており、平成20年3月期の決算と同時に発表いたします。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	1,355,241	2,276,456	921,215	68.0	2,018,570
受取手形及び売掛金	3,323,652	3,561,131	237,479	7.1	4,478,768
有価証券	4,498,379	1,535,565	△2,962,813	△65.9	4,499,246
たな卸資産	112,138	157,854	45,716	40.8	82,981
短期貸付金	1,000,000	1,000,000	—	—	1,000,000
繰延税金資産	113,682	217,444	103,762	91.3	299,789
その他	723,880	1,116,632	392,752	54.3	601,418
貸倒引当金	△3,525	△3,696	△170	4.8	△4,733
流動資産合計	11,123,450	9,861,391	△1,262,059	△11.3	12,976,042
II 固定資産					
有形固定資産	295,172	536,543	241,370	81.8	187,203
無形固定資産	909,868	760,599	△149,268	△16.4	930,464
投資その他の資産	632,484	3,502,856	2,870,371	453.8	1,675,949
固定資産合計	1,837,525	4,799,999	2,962,474	161.2	2,793,617
資産合計	12,960,976	14,661,390	1,700,414	13.1	15,769,659

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
買掛金	1,402,001	1,770,225	368,223	26.3	2,315,412
未払法人税等	151,188	2,970	△148,218	△98.0	766,173
前受金	575,700	779,432	203,732	35.4	699,287
賞与引当金	217,799	256,165	38,365	17.6	379,094
役員賞与引当金	34,592	50,160	15,567	45.0	62,497
その他	676,409	743,266	66,856	9.9	925,894
流動負債合計	3,057,691	3,602,219	544,528	17.8	5,148,359
II 固定負債					
退職給付引当金	404,039	445,352	41,313	10.2	451,669
役員退職慰労金引当金	37,133	52,069	14,936	40.2	41,986
固定負債合計	441,172	497,421	56,249	12.7	493,655
負債合計	3,498,863	4,099,640	600,777	17.2	5,642,015
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	995,000	995,000	—	—	995,000
資本剰余金	909,000	909,000	—	—	909,000
利益剰余金	8,183,397	9,165,720	982,323	12.0	8,849,779
自己株式	△682,449	△641,583	40,865	△6.0	△676,363
株主資本合計	9,404,947	10,428,137	1,023,189	10.9	10,077,416
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	55,767	137,452	81,685	146.5	65,407
繰延ヘッジ損益	—	△4,349	△4,349	—	△15,952
評価・換算差額等合計	55,767	133,102	77,335	138.7	49,455
III 少数株主持分	1,397	509	△887	△63.5	772
純資産合計	9,462,112	10,561,749	1,099,637	11.6	10,127,644
負債、純資産合計	12,960,976	14,661,390	1,700,414	13.1	15,769,659

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	13,106,520	14,642,958	1,536,437	11.7	18,998,366
II 売上原価	8,211,234	8,990,372	779,138	9.5	11,690,094
売上総利益	4,895,286	5,652,585	757,299	15.5	7,308,271
III 販売費及び一般管理費	3,588,591	4,274,224	685,632	19.1	4,767,602
営業利益	1,306,694	1,378,361	71,666	5.5	2,540,669
IV 営業外収益	234,280	152,233	△82,046	△35.0	287,626
V 営業外費用	785	857	71	9.2	811
経常利益	1,540,189	1,529,737	△10,452	△0.7	2,827,484
VI 特別利益	8,381	—	△8,381	△100.0	8,381
VII 特別損失	15,835	145,181	129,346	816.8	227,763
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,532,735	1,384,556	△148,179	△9.7	2,608,102
税金費用	687,707	538,345	△149,361	△21.7	1,093,248
少数株主損失	749	262	△487	△65.0	1,374
四半期(当期) 純利益	845,777	846,473	695	0.1	1,516,227

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期連結会計期間(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	995,000	909,000	7,899,890	△746,791	9,057,099
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当			△459,007		△459,007
役員賞与			△60,260		△60,260
四半期純利益			845,777		845,777
自己株式の処分			△43,003	64,341	21,337
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)					
第3四半期中の変動額合計	—	—	283,506	64,341	347,848
平成18年12月31日残高	995,000	909,000	8,183,397	△682,449	9,404,947

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差額 等合計		
平成18年3月31日残高	69,314	—	69,314	2,146	9,128,560
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当					△459,007
役員賞与					△60,260
四半期純利益					845,777
自己株式の処分					21,337
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	△13,547	—	△13,547	△749	△14,296
第3四半期中の変動額合計	△13,547	—	△13,547	△749	333,551
平成18年12月31日残高	55,767	—	55,767	1,397	9,462,112

当第3四半期連結会計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	995,000	909,000	8,849,779	△676,363	10,077,416
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当			△507,286		△507,286
四半期純利益			846,473		846,473
自己株式の処分			△23,245	34,779	11,534
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)					
第3四半期中の変動額合計	—	—	315,941	34,779	350,720
平成19年12月31日残高	995,000	909,000	9,165,720	△641,583	10,428,137

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差額 等合計		
平成19年3月31日残高	65,407	△15,952	49,455	772	10,127,644
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当					△507,286
四半期純利益					846,473
自己株式の処分					11,534
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	72,044	11,602	83,647	△262	83,384
第3四半期中の変動額合計	72,044	11,602	83,647	△262	434,105
平成19年12月31日残高	137,452	△4,349	133,102	509	10,561,749

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	995,000	909,000	7,899,890	△746,791	9,057,099
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△459,007		△459,007
役員賞与			△60,260		△60,260
当期純利益			1,516,227		1,516,227
自己株式の処分			△47,071	70,428	23,356
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	949,889	70,428	1,020,317
平成19年3月31日残高	995,000	909,000	8,849,779	△676,363	10,077,416

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差額 等合計		
平成18年3月31日残高	69,314	—	69,314	2,146	9,128,560
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△459,007
役員賞与					△60,260
当期純利益					1,516,227
自己株式の処分					23,356
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	△3,906	△15,952	△19,858	△1,374	△21,233
連結会計年度中の変動額合計	△3,906	△15,952	△19,858	△1,374	999,083
平成19年3月31日残高	65,407	△15,952	49,455	772	10,127,644

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,532,735	1,384,556	2,608,102
減価償却費	193,284	298,628	281,179
のれん償却額	81,898	212,973	110,505
受取利息及び受取配当金	△34,744	△81,493	△45,043
為替差損益	△368	△0	△10,441
固定資産売却益	△8,381	—	△8,381
固定資産除却損	2,496	6,433	5,312
固定資産譲渡損	—	34	—
出資金評価損	13,339	—	13,339
売上債権の増減額	955,889	994,550	△73,589
たな卸資産の増減額	△26,938	△74,873	2,218
仕入債務の増減額	△1,078,290	△910,048	△140,312
未払費用の増減額	79,989	△104,441	125,092
未払消費税等の増減額	△24,483	△86,937	61,710
貸倒引当金の増減額	1,036	△1,537	734
賞与引当金の増減額	△80,757	△122,929	80,536
役員賞与引当金の増減額	34,592	△12,337	62,497
退職給付引当金の増減額	309	△6,317	17,253
役員退職慰労金引当金の増減額	△20,709	10,083	△15,856
役員賞与の支払額	△60,260	—	△60,260
その他	26,467	70,191	273,882
小計	1,587,104	1,576,535	3,288,481
利息及び配当金の受取額	44,817	80,984	55,259
法人税等の支払額	△926,662	△1,360,857	△928,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	705,260	296,662	2,415,301

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業譲受による支出	△237,631	—	△237,631
有形固定資産の取得による支出	△98,782	△477,664	△104,826
有形固定資産の売却による収入	5,250	5,334	5,250
無形固定資産の取得による支出	△167,137	△281,205	△212,765
有価証券の取得による支出	△11,989,067	△4,492,013	△13,486,235
有価証券の償還による収入	10,574,996	5,489,257	12,072,171
有価証券の解約による収入	—	1,969,870	—
投資有価証券の取得による支出	—	△1,949,487	△1,010,095
投資有価証券の払戻による収入	—	4,250	—
貸付けによる支出	△2,000,000	△2,000,000	△2,000,000
貸付金の回収による収入	2,000,000	2,000,000	2,000,000
保険積立金の積立による支出	△1,623	△1,623	△2,165
出資金の払込による支出	△80,234	—	△80,234
その他	△3,241	187,272	2,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,997,472	453,989	△3,054,113
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
ストックオプションの権利行使による収入	21,337	11,534	23,356
配当金の支払額	△455,861	△504,300	△458,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△434,523	△492,766	△434,667
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	368	0	10,441
V 現金及び現金同等物の増減額	△1,726,367	257,885	△1,063,037
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,081,608	2,018,570	3,081,608
VII 現金及び現金同等物の四半期(期末)残高	1,355,241	2,276,456	2,018,570

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)

(単位:千円)

	CAEソリューションサービス事業	ネットワークソリューションサービス事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	11,085,176	2,021,343	13,106,520	—	13,106,520
(2)セグメント間の内部売上高または振替高	1,200	1,744	2,944	△2,944	—
計	11,086,376	2,023,088	13,109,465	△2,944	13,106,520
営業費用	8,629,233	1,959,103	10,588,337	1,211,488	11,799,826
営業利益	2,457,142	63,985	2,521,128	△1,214,433	1,306,694

当四半期 (平成20年3月期第3四半期)

(単位:千円)

	CAEソリューションサービス事業	ITソリューションサービス事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	12,861,732	1,781,225	14,642,958	—	14,642,958
(2)セグメント間の内部売上高または振替高	14,620	1,637	16,257	△16,257	—
計	12,876,352	1,782,862	14,659,215	△16,257	14,642,958
営業費用	9,951,520	1,735,977	11,687,498	1,577,098	13,264,597
営業利益	2,924,831	46,885	2,971,716	△1,593,355	1,378,361

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位:千円)

	CAEソリューションサービス事業	ネットワークソリューションサービス事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	16,392,243	2,606,122	18,998,366	—	18,998,366
(2)セグメント間の内部売上高または振替高	7,920	4,020	11,940	△11,940	—
計	16,400,163	2,610,142	19,010,306	△11,940	18,998,366
営業費用	12,325,262	2,505,213	14,830,475	1,627,220	16,457,696
営業利益	4,074,901	104,929	4,179,830	△1,639,161	2,540,669

(注) 1. 事業区分の名称の変更

当連結会計期間より事業の種類別セグメントの名称を「ネットワークソリューションサービス事業」から「ITソリューションサービス事業」に変更しております。

なお、名称の変更による主要商品・サービス等の変更はございません。

2. 事業区分の方法

事業は、当社グループのユーザーに提供する商品およびサービス等の種類の類似性により区分しております。

3. 各区分に属する主要な商品・サービス等

事業区分	主要商品・サービス等
CAEソリューションサービス事業	有限要素法解析ソフトウェア、汎用数値解析ソフトウェア、光学解析・照明解析ソフトウェア、輝度・照度・色度測定システム、電子回路シミュレータ、高周波回路設計システム、汎用可視化ソフトウェア、医用画像ソフトウェア、樹脂流動解析ソフトウェア、ユーザ教育、受託解析サービス
ITソリューションサービス事業	PC接続ソフトウェア、IT資産管理・ライセンス管理ソフトウェア、業務パフォーマンス改善ソフトウェア、セキュリティ対策ソフトウェア、Web会議サービス、内部統制リスク管理システム